

【調査結果の概要】

- 3教科とも正答率は、佐伯市、全国を下回った。
- 特に算数では、基礎・活用ともに10ポイント近く下回った。

◆正答率の比較

令和4年	4年	本校	市	国	
国語	教科全体	65.3	71.1	72	
	基礎	71.5	77.2	78.9	
	活用	53.6	59.5	59.1	
	領域	言葉の特徴	74.3	80.3	82.8
		情報の扱い方	58.8	61.9	59.1
		言語文化	71.3	81.1	77.9
		話す聞く	61.3	61.4	63.3
		書く	30.6	57.6	58.2
		読む	67.1	67.9	67

令和4年	4年	本校	市	国	
算数	教科全体	55.2	65.8	68.3	
	基礎	59.5	70.4	74.2	
	活用	45.8	55.6	55.5	
	領域	数と計算	56.9	66.7	69.2
		図形	50.8	63	65.4
		変化と関係	52.4	60.8	62.5
		データの活用	48.2	63.9	66.6

令和4年	4年	本校	市	国	
理科	教科全体	60.8	68.5	71.8	
	基礎	67.9	75.5	78.1	
	活用	41.2	49.2	54.6	
	領域	物質とエネルギー	58.3	66.4	68.9
		生命・地球	62	69.5	73.3

【国語】

- △26の設問中、目標値を上回った項目が9つのみ。
- △記述で文章を書く項目が目標値を大きく下回った。また、2割の児童が無解答だった。
- 漢字は、「読む」も「書く」も目標値を上回るか目標値とほぼ変わらなかった。
- 「情報と情報との関係について理解し要約する」は目標値を大きく上回った。

【算数】

- △32の設問中、目標値を下回った項目が18。
- △「概数」「計算のきまり」「四則計算」「垂直と平行と四角形」「折れ線グラフ」の項目が目標値より大きく下回った。
- △記述で答える問題は、3割を超える児童が無解答だった。

【理科】

- △30の設問中、目標値を上回った項目が3つのみ。
- △「電気のはたらき」「月と星」「雨水のゆくえと地面のようす」「ものの体積と温度」「天気のようにすと気温」の問題で目標値より大きく下回った。

国語は昨年度より6ポイント上昇したが未だ目標値には達していない。設問の後半に無解答が多いことから「問題を把握し解答する速度」が遅いことが課題としてあげられる。初見の問題をたくさん解いていくことや感想等を書く活動を増やしていくことを対策として取り組んでいる。

算数は全体的に目標値を下回った今回の結果から「学習した内容の確実な定着」のため、全単元のチェックプリントを朝学習（週3回）で実施し、その日のうちに解説と類似問題を解く活動を組んでいる。また、宿題でわからなかったこと問題を出し合い解説して解決しながら、授業と宿題をよりリンクさせていく。さらに、全単元のチェックプリントを春休みの課題の1つとして取り組むことを予定している。

自主学習の模範例を教師が作成して掲示し、掲示コーナーで児童のよい例を紹介しながら主体的に学ぶ姿や思考判断表現力を高めていく。